

地域全体で支え合う こころの健康づくりをめざす

大塚 耕太郎 先生

岩手医科大学医学部神経精神科学講座主任教授

Profile

1997年岩手医科大学医学部卒業。2005年同大学医学部神経精神科学講座講師，2012年同大学医学部災害・地域精神医学講座特命教授，2016年より現職。岩手県こころのケアセンター副センター長併任。専門領域は精神科救急，自殺対策，災害精神医学，生物学的精神医学，臨床精神医学，精神医学史など。



精神科救急と 自殺対策の取り組みへの道

—まずは先生が精神科医になられたきっかけを教えてください。

岩手医科大学の学生時代，社会には病気を抱え苦しむ人や大変な人がいるなかで，一体何が起きているのか，その意味は何なのか，漠然とした疑問が常にありました。その答えを求めて医学哲学や生命倫理，哲学研究室に足繁く通うようになりました。大学2年のとき研究室で恩師である前教授の酒井明夫先生と出会いました。その後，卒業時に酒井先生から「一緒に哲学や精神医学史をやろう」とお声をかけていただき，私もぜひ先生の指導を仰ぎたいと考え，神経精神科学講座に入局しました。

当科は，生物学的精神医学，地域介入研究，精神医学史をはじめとして多彩な臨床研究のみならず，78床の閉鎖病棟で入院治療，合併症医療を行い，大学附属病院ではめずらしく精神科救急を手がけ，非常に臨床面も充実しています。私も入局後は酒井先生と哲学や精神医学史を研究しながら，現場では精神科救急も含め，多くの先生に教えていただき臨床のスキルを身に付けさせていただきました。

高度救急救命センターで，
自殺未遂者へのサポートを行う

—大学附属病院ではめずらしいという，精神科救急の取り組みをご紹介ください。

当科は岩手県の精神科救急システムの常時対応施